

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成25年4月25日(2013.4.25)

【公開番号】特開2011-209383(P2011-209383A)

【公開日】平成23年10月20日(2011.10.20)

【年通号数】公開・登録公報2011-042

【出願番号】特願2010-74986(P2010-74986)

【国際特許分類】

G 03 B 21/00 (2006.01)

G 02 F 1/13 (2006.01)

【F I】

G 03 B 21/00 D

G 02 F 1/13 5 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月8日(2013.3.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光源から射出された光束を画像情報に応じて変調して投写するプロジェクターであつて、

外部の空気を取り込む吸気口を有する外装筐体と、

前記吸気口を覆い、塵埃を捕捉する防塵フィルターと、

前記吸気口から取り込まれた空気を冷却対象に送風する吸気ファンと、

前記防塵フィルターの目詰まり状態に応じて開閉され、前記吸気ファンによる外部の空気を取り込み可能な補助吸気口と、

を備えることを特徴とするプロジェクター。

【請求項2】

請求項1に記載のプロジェクターであつて、

前記補助吸気口は、前記外装筐体の内部と外部との圧力差により開閉されることを特徴とするプロジェクター。

【請求項3】

請求項2に記載のプロジェクターであつて、

前記外装筐体内の空気を外部に排出する排気ファンを備え、

前記補助吸気口は、前記排気ファンによって前記外装筐体内部の空気が外部に排出されることで発生する圧力差により開閉されることを特徴とするプロジェクター。

【請求項4】

請求項1から請求項3のいずれか一項に記載のプロジェクターであつて、

前記補助吸気口は、前記外装筐体に設けられ、

前記防塵フィルターの目詰まり状態に応じて前記補助吸気口を開閉する弁機構を備えることを特徴とするプロジェクター。

【請求項5】

請求項1から請求項3のいずれか一項に記載のプロジェクターであつて、

前記補助吸気口は、前記吸気口の一部として設けられ、前記防塵フィルターの回転により開閉されることを特徴とするプロジェクター。

【請求項 6】

請求項 1 から請求項 5 のいずれか一項に記載のプロジェクターであって、
前記補助吸気口から取り込まれた空気を前記冷却対象に導き、前記空気の流れが滞留す
る滞留部を有するダクトを備えることを特徴とするプロジェクター。

【請求項 7】

請求項 6 に記載のプロジェクターであって、
前記滞留部には、塵埃を捕捉する捕捉部材が配置されていることを特徴とするプロジェ
クター。